

# 精神疾患の地域支援模索



訪問看護ステーションの職員らが登壇し、現場の課題などについて話し合ったパネルディスカッション

## 宮崎市 関係者ら意見交換

宮崎市のNPO法人「宮崎もやいの会」(小林順一代表)などは12日、精神障害者に対する地域の支援を推進しようと、関係機関の連携を模索するイベントを市民プラザで開いた。訪問看護ステーションや地域包括支援センターなどから約100人が参加。支援の取り組みや現場での連携事例を共有するなどした。

イベントは2部制で行

い、パネルディスカッションでは、訪問看護ステーションや訪問診療所の職員ら6人が登壇。参加者は現場での経験を交えながら「医療職と福祉職の相談しやすい関係づくりが重要では」「支援制度のはざまにいる人はたくさんいる。行政を動かすには、われわれ一人一人が声を上げていくことが大切」などと主張した。このほか、会場では県内の訪問看護ステーションが、精神疾患患者への積極的な個別支援に取り組む映像なども紹介された。(久保真一朗)